

医療圏及び名張市立病院の現状と課題について

名張市立病院在り方検討委員会
第2回資料

令和4年3月17日



目次

本日の議論内容	3
---------	---

現状分析結果要旨	4
----------	---

本日の議論内容

前回の委員会で 主に議論いただいた内容

- 名張市立病院の在り方検討委員会における検討事項

本日の委員会で 主に議論いただきたい内容

- 医療圏及び名張市立病院の現状を踏まえて、市立病院が果たすべき役割及び検討すべき課題
 - 市立病院の地域医療における役割及び他の医療機関との機能の分担に関する事項

名張市立病院在り方検討委員会設置条例(抜粋)

第2条 委員会は、市長の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) 市立病院の地域医療における役割及び他の医療機関との機能の分担に関する事項
- (2) 市立病院の経営形態に関する事項
- (3) 市立病院の診療科目及び病床数に関する事項
- (4) 前3号に掲げるもののほか、市立病院の運営に関する事項

現状分析結果要旨

市立病院における外的要因及び内的要因の経営課題について整理いたしました

現状分析に基づく経営課題

外的要因	人口動態の状況	<ul style="list-style-type: none">• 名張市及び周辺地域の人口は、2045年まで減少が続く【P15-17】• 2030年時点で、入院患者数は維持、外来患者数は1割減となる【P18,19】• 循環器、呼吸器、損傷/中毒の入院患者数は、2030年まで増加する【P20,21】• 2045年では全疾患で患者数が減少し、入院1割減、外来2割減となる【P20-23】
	地域医療の状況	<ul style="list-style-type: none">• 名張市民の受療動向で、主に入院で他県への流出が認められる【P51,52】• 特に新生物(がん)、筋骨格・結合組織疾患の流出が顕著である【P51,52】• 伊賀地域の基幹3病院は、診療体制や機能で重複している面がある【P25】• 5疾病5事業は、津市を含む中勢伊賀医療圏で提供体制の整備が図られている【P27-41】
内的要因	財務状況	<ul style="list-style-type: none">• 一般会計からの繰入金が高、同規模の病院と比較して高い【P63】 (ただし、主に企業債の償還財源の資本勘定繰入の割合が高い)• 自己資本構成比率及び流動比率が低く、現金・預金が不足傾向であり安定経営ができていない【P58】• 医業収益に占める職員給与費の割合が高い【P57】
	診療状況	<ul style="list-style-type: none">• 筋骨格系及び外傷等の整形外科における平均在院日数が長い【P69】• 消化器系の予定入院の割合が低い【P71】• 医師1人当たりの医業収益及び患者数が少ない傾向にある【P59,60】• 病棟看護師の数が、入院患者数に対して多い【P77】

※文末括弧内の数字は分析結果資料のページ数を示している

本日議論いただきたいテーマです

市立病院の担うべき役割

市立病院に求めるニーズ

「行政(市)」	<ul style="list-style-type: none">医療機関(病院)としての役割災害時への継続的、迅速な対応政策医療への対応
「市民」	<ul style="list-style-type: none">緊急時(二次救急)の対応
「地域医療機関」	<ul style="list-style-type: none">地域(名張市)の中核病院としての役割

現状分析から抽出される地域の課題

- 高齢者の増加による循環器系、呼吸器系疾患などの高齢者疾患の増加
- 近隣市町村を含む人口の減少による将来的な患者数の減少
- 伊賀圏域における急性期病床が過剰となっており、急性期病床の病床利用率が低い
- 伊賀圏域における人口に対する医師及び看護師数が少ない
- 名張市消防の市立病院への救急搬送割合が減少している
- がん等の入院及び外来患者が他県へ流出している

市立病院の果たすべき役割

市立病院の果たすべき役割、ビジョン及び検討すべき課題についてどのように考えるか

